

入札説明書

下記に係る競争入札については、関係法令に定めるもののほか、本書によるものとする。

1 競争入札に付する事項

調達案件名称	堺市民芸術文化ホール設備運転監視及び点検・保守業務
業務概要	設備機器の操作および日常巡視点検・定期点検等を行い、施設の安全、維持管理、環境衛生を確保することで、円滑な施設の運営に寄与すること。
入札方法	紙入札
入札金額	総価（詳細は後記 9（3）を参照。）
見積明細書	不要
契約方法	総価契約
最低制限価格	設定しない
事後審査	無
履行期間	令和 2 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで ※通常業務開始日は令和 2 年 4 月 1 日を予定しており、それまでの期間は前受注者からの引継ぎ期間とする。通常業務履行にあたり支障がないよう、準備を整えること。
履行場所	契約書又は仕様書に記載のとおり
発注部署	後記「2」のとおり

2 契約事務担当部署

郵便番号	590 - 0061
所在地	堺市堺区翁橋町 2 丁 1 - 1
所属	公益財団法人堺市文化振興財団 堺市民芸術文化ホール 担当：大山、佐々木、今井
電話番号等	TEL: 072 - 232 - 0220 FAX: 072 - 232 - 0110
メールアドレス	f-sacay@sakai-bunshin.com

3 競争入札参加資格

当該案件への入札参加を希望する者（以下「入札参加者」という。）は、次の全ての要件を満たしていなければならない。

- (1) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 の規定に該当していないこと（同条第 2 項各号のいずれかに該当すると認められてから 3 年を経過している場合を除く。）及び公益財団法人堺市文化振興財団契約規程第 3 条の規定に該当しないこと。
- (2) 参加申請締切日から開札日までの間に堺市入札参加有資格者の入札参加停止等に関する要綱（平成 11 年制定）による入札参加停止又は入札参加回避（改正前の堺市入札参

加有資格業者の指名停止等に関する要綱に基づく指名停止又は指名回避を含む。)を受けていないこと。

- (3) 会社更生法（平成14年法律第154号）第17条に規定する更生手続開始の申立て（同法附則第2条の規定によりなお従前の例によることとされている更生事件に係る同法による改正前の会社更生法（昭和27年法律第172号。以下「旧法」という。）第30条に規定する更生手続開始の申立てを含む。）がなされている者（同法第199条に規定する更生計画認可の決定（旧法第223条に規定する更生計画認可の決定を含む。）を受けている者を除く。）又は民事再生法（平成11年法律第225号）第21条に規定する再生手続開始の申立てがなされている者（同法第174条に規定する再生計画認可の決定を受けている者を除く。）等経営状態が著しく不健全な者でないこと。
- (4) 参加申請締切日から開札日までの間に堺市契約関係暴力団排除措置要綱（平成24年制定。以下「排除要綱」という。）による入札参加除外（改正前の堺市暴力団等排除措置要綱及び堺市建設工事等暴力団対策措置要綱に基づく入札参加除外を含む。）を受けている者でないこと。また、排除要綱第5条第2号に規定する、大阪府警察本部から暴力団員又は暴力団密接関係者に該当する旨の通報等（改正前の堺市暴力団等排除措置要綱に規定する通報等を含む。）を受けた当該通報に係る者でないこと。
- (5) 当該案件の入札者（契約に関する権限等を委任された受任者を含む。）が、他の入札者（契約に関する権限等を委任された受任者を含む。）を兼ねていないこと（同一代表者が複数の企業で同一案件に参加することはできない。）。
- (6) 組合については、その構成員が当該案件に入札参加の申込みをしていないこと。
- (7) 入札説明書で指定する書類の全てを提出できること。
- (8) 仕様書に基づき、信義に従い誠実に履行できること。
- (9) 堺市内に本店または本店以外の事業所を有すること。

4 スケジュール

(1) 仕様書等の配布

配布期間	書類ごとに設定
配布方法及び手続の詳細	後記「5」のとおり

(2) 入札参加資格確認申請

申請期間	公告日から 令和2年2月25日 正午まで
申請方法及び手続の詳細	後記「6」のとおり

(3) 入札参加資格に係る確認結果通知

通知日	令和2年2月27日
通知方法及び手続の詳細	後記「7」のとおり

(4) 質疑の申請

申請期間	公告日から 令和2年2月25日 正午まで
質疑方法及び手続の詳細	後記「8」のとおり

(5) 入札及び開札

入札及び開札日時	令和2年3月5日 午前10時00分
入札及び開札に係る方法、手続の詳細	後記「9」のとおり

5 仕様書等の配布

(1) 配布期間

入札説明書、仕様書等	公告日から 当該案件の公開期間終了日時まで
------------	--------------------------

(2) 配布方法

当該案件の仕様書等の関係書類は、財団ホームページまたはフェニーチェ堺（堺市民芸術文化ホール）ホームページからダウンロードすること。なお、窓口及び郵送等での配布は行わない。

財団ホームページ：<http://www.sakai-bunshin.com/>

フェニーチェ堺（堺市民芸術文化ホール）ホームページ：<https://www.fenice-sacay.jp/>

(3) 費用及び目的外使用の禁止

仕様書等は無料とする。なお、仕様書等は当該案件の入札の積算、見積り以外の目的で使用してはならないこととし、入札終了後に破棄又は責任を持って管理すること。

6 入札参加資格確認申請

(1) 入札参加資格確認申請

入札参加者は、下記のとおり、参加申請締切日までに入札参加資格確認申請を行わなければならない。

(2) 申請手続

申請期間	前記「4（2）」のとおり
申請先	前記「2」の契約事務担当部署のとおり
申請書類	(ア)入札参加資格確認申請書 ・必要事項を記入し、押印等をした上で提出すること。 (イ)国税の納税証明書（法人はその3の3、個人はその3の2とし、令和2年2月1日以降に発行されたものを必ず添付すること。写し可。） ・提出部数は1部とする。 ※提出書類(イ)については、堺市登録業者の場合、提出は不要である。

申請方法	<p>直接持参または郵送（FAX 不可）してください。</p> <p>【持参の場合】上記提出期限までの午前10時から午後5時まで(第1、第3月曜日を除く)に持参すること。</p> <p>【郵送の場合】上記提出期限内に必着とする。なお、郵送で提出した旨を前記「2」の契約事務担当部署まで電話連絡し、到達確認をすること。</p>
------	--

(3) 入札参加資格確認申請の取下げ

入札参加資格確認申請書の提出後、参加申請締切日までの間に当該案件への参加申請を取下げの場合は、下記の手続により取下げに係る申請を行うこと。

申請先	前記「2」の契約事務担当部署のとおり
申請方法	<p>下記申請書類を直接持参又は郵送すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接持参の場合 前記該当期間内に持参すること。 ・郵送の場合 前記該当期間内に必着とする。なお、郵送で提出した旨を、前記「2」の契約事務担当部署まで電話連絡すること。
申請書類	入札参加申請取下申出書（本財団様式）

(4) その他注意事項

- ア 申請に要する費用は、入札参加者が負担すること。
- イ 事前審査書類に虚偽の記載があれば、当該案件の入札参加資格を認めないものとする。
- ウ 入札参加申請取下申出書については、提出後の撤回はできないものとする。

7 入札参加資格に係る審査及び確認結果通知

(1) 入札参加資格に係る審査

前記「6」の申請に係る審査については、参加申請締切日を審査基準日として、前記「3」の各要件を審査（以下「事前審査」という。）するものとする。

(2) 入札参加資格に係る結果通知

事前審査を行った結果、入札参加資格を有すると認められた（以下「合格」という。）入札参加者には、郵送にて合格の通知を行う。

通知日	前記「4（3）」のとおり
-----	--------------

次のいずれかに該当した者は、入札参加資格を認めない（以下「不合格」という。）ものとし、その旨の理由を付して上記通知日に郵送により不合格の通知を行う。

- ア 事前審査の項目を満たさない者
 - イ 事前審査書類に虚偽の記載がある者
- なお、不合格となった場合であっても、申請に要する費用の返却はしないものとする。

(3) その他注意事項

- ア 参加申請締切日の翌日から参加資格通知日までの間に事前審査の項目に掲げる要件のいずれかを満たさないことが明らかとなった場合は、不合格とする。
- イ 事前審査の結果、入札参加資格を満たす者が1者に満たない場合は、当該入札を中止

する。

ウ 参加資格通知日から開札日までの間に事前審査の項目のいずれかを開札時点で満たさないことが明らかとなった場合は、入札参加資格の合格を取り消すことができるものとする。なお、入札参加資格の合格を取り消されたものがすでに入札を行っていた場合、当該入札は無効とする。また、入札参加資格の合格の取消しは、理由を付して郵送により通知する。

8 質疑申請及び回答の公表

(1) 仕様書等に係る質疑

契約書及び仕様書等に関する質疑がある場合は、下記申請期間内に、質問書（本財団様式）により質問の内容を、前記「2」の契約事務担当部署に提出しなければならない。

申請期間	前記「4（4）」のとおり
申請先	前記「2」の契約事務担当部署のとおり
申請方法	メールでの提出に限る。 上記申請期間内に必着とする。なお、提出した旨を、前記「2」の契約事務担当部署まで電話連絡し、到達確認をすること。
申請書類	質問書（契約書・仕様書等関係）（本財団様式）

(2) 入札説明書に係る質疑

入札説明書に関する質疑がある場合は、下記申請期間内に、質問書（本財団様式）により質問の内容を、前記「2」の契約事務担当部署に提出しなければならない。

申請期間	前記「4（4）」のとおり
申請先	前記「2」の契約事務担当部署のとおり
申請方法	メールでの提出に限る。 上記申請期間内に必着とする。なお、提出した旨を、前記「2」の契約事務担当部署まで電話連絡し、到達確認をすること。
申請書類	質問書（入札説明書関係）（本財団様式）

(3) 回答の公表

質疑の回答については、下記の日時に財団ホームページ及びフェニーチェ堺（堺市民芸術文化ホール）ホームページにて公表するため、必ず内容を確認すること。

公表予定日時	令和2年2月27日 午後1時（予定）
--------	--------------------

なお、上記公表予定日時に関わらず、急を要する回答については、同ホームページにて随時公表することとし、公表の際は入札参加資格確認申請済みの者に限り別途周知するものとする。

9 入札手続等

(1) 入札及び開札の方法

下記のとおり行う。

入札及び開札日時	前記「4（5）」のとおり
----------	--------------

入札及び開札場所 (予定)	前記「2」の契約事務担当部署のとおり（集合場所：堺市堺区翁橋町 2丁1-1 堺市民芸術文化ホール2階 多目的室）
------------------	---

当日配布する所定の入札書をもって応札すること。

入札に参加する者は、入札者又はその代理人とする。代理人が参加する場合は、入札に関する権限及び開札に関する権限の委任を受けなければならない（入札前に委任状を提出すること）。入札会場内への入室は1社1名に限ること。

入札書には、会社の所在地（住所）、名称（商号）及び代表者職氏名を記入し、使用印鑑（代理人の場合は受任者印）を鮮明に押印すること。

次のいずれかに該当する場合は、入札に参加できないので十分注意すること。

- ・入札参加資格を満たさない場合
- ・前記「4（5）」に定める入札時間に参加者が遅刻したとき
- ・参加者が代表者の印鑑（代理人が入札に参加する場合は受任者の印鑑）を持参しないとき
- ・代理人により入札を行うにもかかわらず、代理人が委任状を提出しないとき

（2） 落札者又は落札候補者の決定方法

下記「10」に定める入札の無効に関する要件（以下「無効要件」という。）に該当しない者のうち、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって入札した者を落札者として決定する。ただし、落札者となるべき同価格の入札をした者が2人以上あるときは、くじにより落札者を決定するものとする。また、著しく低価格の場合は当該入札者に照会することがある。

（3） 入札書に記載される金額

入札は総価で行う。

入札金額は令和2年度の総価を記載すること。（契約金額は毎年同一とするため、2年間の業務量を勘案したうえで入札金額を記載すること。なお、当該契約は月額払いとする。）

落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の消費税及び地方消費税の相当額（以下「消費税等相当額」という。）を加えて得た金額（当該金額に1円未満の端数があるときはその端数金額を切り捨てた金額）をもって落札金額とするため、入札者は消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積った契約希望金額の消費税等相当額を含まない金額を入札書に記載すること。

また、入札金額の見積りにあたっては契約期間中における原材料、人件費等の諸経費の動向等を十分勘案して行うこと。

（4） 入札回数

入札回数は2回（再度入札を含む。）までとする。

10 無効となる入札

次のいずれかに該当する入札は、無効とする。

- （1） 入札に参加する資格を有しない者のした入札（入札参加資格の合格を取り消された者

が、入札参加資格の取消しを受ける前にした入札を含む。)

- (2) 本人又は第三者を問わず、不正な手段により改ざんされた事項を含む入札
- (3) 開札時において文字、数字等が判読できない入札
- (4) 誤字、脱字等により意思表示が不明瞭である入札
- (5) 談合その他不正行為により入札を行ったと認められ、又は不正行為が行われたおそれ
が非常に強い入札
- (6) 同一の入札について、自己の他、他人の代理人を兼ねて入札した者の入札
- (7) 同一の入札について、2以上の代理人をした者の入札
- (8) 数人が共同して行った入札
- (9) 再度入札を実施した場合において、前回最低金額を上回る価格で行った入札
- (10) 明らかに履行ができないと認められる低い価格で行った入札
- (11) 同一の入札回数内において、2以上の入札を行った場合の入札
- (12) その他、指示した条件に違反して入札した者の入札

1.1 入札の辞退等

(1) 入札書提出後辞退の禁止

入札参加者は、入札書提出までの間、入札を辞退することができる。

ただし、入札書提出後の辞退はすることができず、いかなる時点においても入札書の引換え、変更又は撤回を認めない。また、入札の辞退を行った後は、辞退の撤回を行うことはできない。

(2) 辞退の方法

入札参加者は、入札参加資格を喪失する等の事由が生じた等の理由により入札を辞退するときは、「入札参加辞退届」に事業者の住所、商号または名称、代表者職氏名を記載のうえ、代表者印を押印し、また、辞退理由も記載のうえ、1部提出すること。

(3) 不利益な取扱いの排除

入札を辞退した者に対しては、これを理由として以後の入札参加等において不利益な取扱いをすることはしないものとする。

1.2 入札執行の中断、延期、中止等

前記「7 (3) イ」の場合のほか、入札執行の前又は執行中に、次のいずれかの事由が生じ、入札の執行が困難又は執行すべきでないと思われるときは、入札の執行を中断、延期、中止又は従来の紙を用いた入札に変更（以下「中断等」という。）する場合がある。

- (1) 天災地変等により通信遮断、交通断絶等の事由が発生したとき。
- (2) 有力な証拠をもって、入札執行を中断等すべきと判断するに相当する談合その他不正行為に関する通報があったとき。
- (3) 入札参加を認めなかった者を認めるべき事実があると確認したとき。
- (4) その他やむを得ない事由により入札の執行を中断等すべきと判断したとき。

1 3 暴力団員又は暴力団密接関係者でない旨の誓約書

(1) 誓約書の提出

落札金額が500万円（税込）以上の案件については、排除要綱第11条第1項に基づく誓約書（本財団様式、理事長あてのもの）を契約締結までの間に、落札者は契約書類と合わせて前記「2」の契約事務担当部署へ提出すること。

(2) 受注者は、契約金額が500万円（税込）以上の再委託契約及び資材、原材料の購入契約その他の契約をしたとき（再委託先が資材、原材料の購入契約その他の契約をしたときを含む。）は、当該契約の締結後、当該契約の相手方から堺市暴力団排除条例（平成24年条例第35号）第8条第2項に規定する暴力団員又は暴力団密接関係者でない旨の誓約書（本財団様式）を徴取して、速やかに前記「2」の契約事務担当部署へ提出すること。

1 4 入札参加資格を満たさなくなった入札参加者、落札候補者又は落札者について

(1) 理事長は、開札から落札決定までの期間において、入札参加者又は落札候補者が前記「3」に掲げる要件を満たさなくなった場合は、落札者とししないものとする。

(2) 理事長は、落札決定から契約締結までの期間において、落札者が次のアに該当した場合は、契約を締結しないことができ、次のイ又はウに該当した場合は契約を締結しない。

ア 前記「3」に掲げる要件を満たさなくなった場合（下記イ又はウに該当する場合を除く。）

イ 入札参加除外を受けた場合

ウ 府警からの通報等があった場合

1 5 入札保証金及び違約金に関する事項

入札保証金は公益財団法人堺市文化振興財団契約規程第13条の2第3号の規定に基づき免除とする。ただし、落札者が下記（1）又は（2）に該当した場合は、落札金額（入札書に記載された金額に当該金額の消費税相当額を加えて得た金額（当該金額に1円未満の端数があるときはその端数金額を切り捨てた金額））の100分の3に相当する額の違約金を徴収するものとし、下記（3）に該当する場合は、違約金を徴収することができるものとする。

なお、単価契約にあっては、落札金額に予定数量を乗じた額（当該金額に1円未満の端数があるときはその端数金額を切り捨てた金額）の100分の3に相当する額を違約金とする。

(1) 正当な理由なく期限までに契約を締結しない場合

(2) 前記「14（2）イ」又は前記「14（2）ウ」に該当し、契約を締結しない場合

(3) 前記「14（2）ア」に該当し、契約を締結しない場合

1 6 その他

(1) 落札決定後、10日以内（理事長が特に指定した場合はその期間内）に契約を締結すること。

また、契約締結に際しては、見積書を作成し、提出すること。

- (2) 契約保証金 要 (契約金額 (単価契約にあつては、落札金額に予定数量を乗じた額) の100分の10以上)。ただし、公益財団法人堺市文化振興財団契約規程第28条の2に該当する場合は、免除する場合がある。
- (3) 契約書作成の要否 要。
- なお、契約書の案については、財団ホームページ及びフェニーチェ堺 (堺市民芸術文化ホール) ホームページに掲載しているので必ず内容を確認し、了承した上で、参加すること。
- (4) 契約手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- (5) 入札参加者は、入札参加資格確認申請後、合格の通知を受けた後又は開札後等の時点において、前記「3」に掲げる事項を満たしていないことが明らかになった場合は、速やかに本財団に報告すること。
- (6) 契約の締結に関しては、落札者に対して別途前記「2」の契約事務担当部署から連絡を行う。
- (7) 本件の受注者を相手方として、本契約に係る履行期間中において別紙仕様書 3.2「管理体制」に定めるポスト数と別に、臨時に追加ポストを手配する増員契約を発注者受注者双方協議の上別途締結する予定であるため、協議の際は誠実に対応すること。
- (8) 本件調達に係る契約の締結に当たっては、令和2年度予算の成立を前提とする。
- (予算が成立しない場合は、本件調達に係る入札説明書等に基づいてなされた行為は無効とする。)